

# 技能実習期間中の課外活動に関する取組好事例①

令和6年度 調査結果

## 外国人技能実習機構

### 北海道 ○監理団体

#### 【監理団体概要】

技能実習生の国籍：中国、ベトナム、インドネシア

技能実習生の職種：水産加工食品製造業

#### 【ポイント】✓自治体が行う外国人向けイベントに協力

⇒この活動により地域との繋がりが強化

#### 地域の特徴

○監理団体が所在する北海道○町は北海道の北東部に位置する自治体で、近隣の市まで約40Kmの距離があり、バスも一日数本ほど。生活する上では自動車がないと不便な環境。○町の主要な産業は農業、漁業、水産加工業など。

#### 国際交流イベントを開催し、地域の国際交流を促進

北海道○町役場では、技能実習制度、そして今後始まる育成就労制度においても、外国人が来やすく、定着しやすい環境を整えるという目的のため、令和5年から国際交流フェスティバルを開催している。○監理団体としても、この地域は交通事情等の理由により技能実習生が休日に出かけることが難しいこと、また近隣に技能実習生が休日を過ごすことができるような施設もないことから、外国人も参加できるイベントがあれば、技能実習生にとってもよいのではないかと考え、イベントの実施に協力している。具体的には、フェスティバルの開催前日の準備や当日の運営の一部に協力するほか、チラシの翻訳作業を行った。

令和5年度のフェスティバルには約150人、令和6年度は約200人の方が参加した。実習実施者の中には、技能実習生を車に乗せてフェスティバルに連れてきてくれる方もいらした。また、技能実習生の中にはイベントの運営を手伝ってくれる方や2年連続で参加してくれる方もいたことを踏まえると、満足を得られている様子がうかがわれることから、一定の成果があったものと考えている。



イベントに参加している技能実習生の様子①



イベントに参加している技能実習生の様子②

# 技能実習期間中の課外活動に関する取組好事例②

令和6年度 調査結果

## 外国人技能実習機構

### 愛知県 K監理団体

#### 【監理団体概要】

技能実習生の国籍：中国

技能実習生の職種：塗装（噴霧塗装作業）

**【ポイント】** ✓技能実習生を対象にした防災研修会の実施  
✓ボランティア活動の参加によって地域住民と交流  
⇒これらの活動により地域住民の接点が増加。

#### 防災研修会・ボランティア活動の実施

実習実施者の食堂を会場にして、技能実習生を対象にした防災研修会を2日間にわたって実施し、計100名ほどの技能実習生が参加した。避難所の概要や場所、災害が起きた際の避難所での行動等について、防災士から講義を受けるとともに、けが人が発生した場合の対処法等を含む実技の説明も行った。また、ボランティア活動としてゴミ拾いも実施した。

#### 防災研修会・ボランティア活動に至った経緯

地域における技能実習生の増加により、監理団体及び実習実施者は、技能実習生と地元住民との摩擦が生じることを懸念していた。そこで監理団体から自治体に地域のためにできることはないかと相談し、打ち合わせを行う中で、「外国人は日本の災害の多さに慣れていないため技能実習生も不安であり、避難をする際にも適切な行動をとれず、地域住民に迷惑をかけてしまう」おそれがあるのではないかと意見があったことから、技能実習生を対象にした防災研修会を実施することとした。ゴミ拾い活動についても、防災研修会以外に出来ることはないかと働きかけたことをきっかけにスタートした。

#### 地域住民の接点が増加

防災研修会やボランティア活動を通じて、技能実習生と地域住民の接点も増え、ゴミ拾いのボランティアの際に笑顔で技能実習生に声をかけてくれるようになった。また、技能実習生が参加している地域の日本語サロンにおいても、ボランティア活動等で接点が増えたことで「今までより話しやすくなった」という声もあった。



防災研修会に参加している実習生の様子



日本語サロンに参加している実習生の様子